

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 新庄学区

※市記入欄
担当 環境課

1. 意見の内容

「市営の公園墓地又は分譲型納骨堂を造ってほしい」
核家族化が進み多くの方が寺院との関係もうすれており、お墓、埋葬に対する考えも多様になっております。お寺に相談するにも敷居が高く墓地も少ないと聞きます。人口減の今日、市政の方向として若者の育成は最重要課題ですが去り行くものにも配慮させるべきと思う。
一人暮らしのひとも、代々の墓に入りたくない人も近くに自分の行先を求められる。正に最後まで安心して定住できる町になる。団塊の世代はまもなくそれを迎えます。ニーズは大いにあります。是非実現を望みます。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

子どもや親族がおらず、お墓の承継を前提とされていない方については、檀家となっている寺院に相談して永代供養を選択する方法や、共同墓地の運営を行っている寺院や業者にお問い合わせする方法などがあります。
埋葬やその後の祭祀については、宗教観の違いもあり非常にプライベートな問題ですが、葬祭業や石材業などの方々は様々な情報をお持ちだと思いますので、ご相談していただくなど今できる方法を有効に活用して対応していただきたいと考えております。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 新庄学区

※市記入欄
担当 都市整備課

1. 意見の内容

最上公園の環境問題

「新庄城址」が、昭和38年8月26日に、新庄市指定文化財(史跡)に指定され、平21年に国の重要文化財になりました。そして、一昨年12月2日に新庄まつり山車行事が山形県内初の「ユネスコ無形文化遺産」に登録されました。

また、最上公園の象徴である「心字池」ですが、郷土にゆかりの深い、後世に残る全国の公園や都市計画に大きな手腕を発揮された、造園家の折下吉延氏の監修により昭和2年から5年にかけて造られました。折下氏の手がけた庭園には、京都の西芳寺や桂離宮などが有名であります。心字池には太鼓橋等3つの橋があり、それぞれ過去・現在・未来を表しており、この橋を渡りながら心を清めて天満宮をお参りしたとのことでした。

私達、御堀端自治会は市の委託を受け、公園パトロールを4月から11月まで、月3回延べ24回(96人)で行っております。また、春のかど焼きまつりと夏の新庄まつりの前に、他町内・企業・市職員・新庄中学校の協力を得て公園全体の清掃活動を実施しております。

このような活動を通して得られた情報を、これまでも機会あるごとに市役所(都市整備課)に連絡しております。それらのことから、いくらかの改善がなされました。トイレの人感センサー、木製の椅子の修理、公園内の歩道の修理等であります。昨年度は関係する市職員の努力により、心字池の改修、池周辺の植木の選定・笹だけの刈り取りなどが一部行われ、一定の成果を見ることが出来たと感謝致しております。しかし、根本的な改修・整備とまではなっていないのではとも感じております。市職員の手だけではなく、業者の力を借りて、心字池とその周辺の改修・整備を是非行っていただきたいと思っております。そのことが必ずや市の発展につながる一つの方策と考えます。心字池周辺が新庄市民の憩いの場・子供たちの学習の場として、また、今年の新庄祭りは金・土・日に行われ、多くの観光客が最上公園に立ち寄り、その良さを十分に鑑賞できるものとなることを心から希望しています。併せまして、ボート小屋脇の柿木、公園東南にあるお堀脇の街灯の改良についてもよろしくお願いいたします。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

日頃より、最上公園の環境整備にご協力をいただきましてありがとうございます。最上公園、特に心字池につきましては、昨年もご提案いただき、池周辺植栽の剪定や池の水抜き作業を実施したところであります。一定の成果はあったものと思われませんが、藻の発生や落ち葉の堆積など、水環境の改善まで至っていないのが現状であります。史跡としての趣を保ちつつ、どのような整備が効果的なのか、専門家や町内のご意見を伺いながら、検討してまいりたいと考えております。

また、昨年度より、樹木医のアドバイスをいただきながら、さくら再生計画の策定や桜の剪定作業に着手しております。柿木を含め修景木については、その中で対応していきたいと考えております。街灯につきましても、適宜対応していきたいと思っております。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 新庄学区

※市記入欄
担当 環境課

1. 意見の内容

ハザードマップを作成し全世帯に配布してはどうか。

○市全体の避難地、場所を知る必要がある。
(年中、自分が町内に居ると限らない)

○ハザードマップ又は別紙にて災害の起きる(災害毎)
事前の準備、知識等又は起時の即時対応を解り易く明示すれば、個々人が平時より知っていれば即座に対応し未然防止に繋がると思う。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

災害想定、避難所等を市民にお知らせすることは担当課としても大変重要で必要な事だと認識しております。以前ハザードマップを作成し全戸配布しましたが、現在、県管理河川の浸水想定区域の策定作業が進められておりますので、それに合わせた形で作成できるよう調整してまいります。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 新庄学区

※市記入欄
担当 学校教育課

1. 意見の内容

学区内の小・中学校から、毎月、回覧してほしい文書が区長宅に届きます。それは、児童・生徒が手渡しで持ってくるものです。文書を携えて区長宅まで届ける途中、もし、何らかの事故が発生した場合や、区長宅が周辺の住宅より離れている場合などのことを考えると児童・生徒の安全のためにも配達の手段を一考すべきではないでしょうか。市報の配布物と一緒に届けてもらう等の方法もあると思いますし、一方、郵送での方法は予算の面も考慮しなければならないでしょう。各部署間で連絡を密にして、取り組んで欲しいと思います。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

日頃より学校教育活動へのご理解と、地域における子どもたちの見守り等ご協力頂いておりますことに感謝申し上げます。市内各小中学校及び義務教育学校では、区長あて文書を、ほぼ毎月、近隣の児童生徒が届けています。文書の内容は、学校だより、PTA広報紙、行事の案内などです。児童生徒数の減少に伴い、区長宅近隣で担当できる該当者がいなくなっていること、また、移動の際、児童生徒の安全面の保障ができないことなどの課題があり、折にふれご意見等も頂いているところです。そこで今年度、2学期をめどに、配布方法を、①郵送する、②担当職員が届けるなどに変更するよう、各校に依頼しております。ただし、大きな学校においては郵送代が大きくなることや、毎月届けることの負担があることなどの課題があり、現在よりよい方法について検討をしているところです。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 八向学区

※市記入欄
担当 選挙管理委員会

1. 意見の内容

選挙に関すること

選挙の投票者に手当又は日当を支払う。

国政選挙、県政、市政の選挙がありますが、新庄市独自の施策として実施したら、当然ながら有権者の関心が図られ、投票者も増加する。更に、全国最初の事例となり、全国に知れ渡る市となりうる。その他にも様々なメリットが期待される。金額では、一人1,000円としたいが最低500円が適当かなと思う。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

選挙の投票率向上に向けたご意見ありがとうございます。

昨年の衆院選で、山形県は64.07%の投票率で都道府県別で全国1位となり、新庄市は65.27%、八向地区公民館の投票所では71.4%と、さらに高い投票率となりました。

さらなる投票率アップに向けたご提案ですが、公職選挙法第一条では「…選挙が選挙人の自由に表明させる意思によって公明且つ適正に行われることを確保し、もって民主政治の健全な発展を期することを目的としている…」と謳っています。そのため、手当を支給することは、その趣旨や理念に反するものとなり、また憲法で保障された国民固有の権利の行使にあたり、認められないものとなります。

なお、手当又は日当に似た事例として、期日前投票所となっているショッピングセンターが、現金ではなく、選挙期間中だけの「限定クーポン」を投票者に配布し、投票率と売り上げのアップを図っている事例が、弘前市や八戸市等でありませ

す。県内では、期日前投票所のひとつとしてイオンモール天童がありますが、実施していないということです。これからも、投票率向上に向け、選挙啓発等地道に努力していきたいと思います。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 八向学区

※市記入欄

担当 ①社会教育課②都市整備課

1. 意見の内容

- ①芭蕉乗船の地・八向盾の周辺の整備の方は。特に、便所の設置の方向性、八向山への遊歩道整備への市のサポートはどうしているか。
- ②雪のストック場所を定め明確にし安全対策をきちんとやること。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

- ①便所の設置の方向性につきましては、現在、芭蕉と曾良の陶像の所に商工観光課所管で5月から10月まで簡易便所を設置しております。常設の公衆便所については、八向地区公民館の建て替えの計画の中で、文化財の活用や観光面も考慮した形での設置を検討しています。

遊歩道の整備につきましては、国指定の文化財である名勝「おくのほそ道の風景地」の活用という視点から、八向楯跡までの遊歩道(現存する山道)の簡易的な整備を計画しています。今年4月に名勝の保存と活用を目的に、本合海地区の方々を会員として「名勝おくのほそ道の風景地本合海協議会(注)」を設立していただき、その協議会の事業として、今年から数年かけて山道へ木材チップを敷く予定です。市では事業費の負担及び事務局として参加しています。

(注) 構成団体：本合海区長協議会・畑地区、本合海エコロジー、榮光院、本合海小学校、八向中学校

- ②除排雪の効率を高めるためには雪のストック場所の確保が必須であると認識しております。各地区ごとに市道に面した田畑等の民有地を使用させていただいておりますが、十分に確保しているとはいえない状況です。ご指摘いただいたとおり、雪のストック場所について関係者と十分に調整し、交通の妨げにならないように効果的な除排雪を実施して参ります。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 萩野学園区

※市記入欄

担当 ①総合政策課②商工観光課

1. 意見の内容

- ①山形新幹線をフル新幹線化する動きがあるが、それに対応できるような新庄のみどころはあるのか。費用負担に見合った効果が得られるのか。
- ②新庄以北の秋田間は昔は特急があった。秋田県からの観光客を呼ぶためにも快速列車を走らせてはどうか。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

- ①奥羽新幹線は昭和48年に政府の基本計画に位置付けられた新幹線の路線で、福島市を起点に、山形市を経由して秋田市を終点とするものです。しかし、48年に示された路線は、リニア中央新幹線を除いて計画は凍結されたままとなっています。
本市では県内の他地域と歩調を揃え、昨年9月20日に奥羽新幹線のフル規格整備を目指す「最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会」に加盟したところです。
整備新幹線は、その地域にとっての起爆剤となりうる一大事業ですが、開業すれば自動的に交流人口が増えるというのではなく、人口減少や高齢化の中で、現状の地域資源をどう捉え、新幹線や高速道路とどう組み合わせるか、30年後を構想する地域デザインが必要となります。
そのため、今回の新幹線開業に向けた取組みを「新幹線がある未来」を構想するためのスイッチと捉え、本市だけでなく最上地域全体で、人づくり、地域づくり、ネットワークづくりを進めていくことが重要と考えています。
- ②ご意見にありましてとおり、新庄～秋田間には特急列車が運行されておりましたが、山形新幹線新庄延伸の際に快速列車に変更され、その後ダイヤ改正で廃止された経緯がございます。
そのため、本市では、以前より、県を通じて、新庄～秋田間の快速列車の運行に係るダイヤ改正の要望をJRに対して行っております。
これにより、山形新幹線と秋田新幹線、双方を利用することで、首都圏向けの新たな旅行商品が造成されることを期待しております。
また、秋田県には、ユネスコ無形文化遺産に登録された「山・鉾・屋台行事」が3行事あることから、この度のユネスコ登録を契機として、これら行事が所在する自治体との連携を深め、相互の交流拡大を促進するためにも、引き続き、JRに対するダイヤ改正の要望活動を継続してまいります。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 萩野学園区

※市記入欄
担当 ①都市整備課②健康課

1. 意見の内容

- ①東北中央自動車道の工事も進んでいる事等から通過点の場所にならない様に、『道の駅』等の誘致を行い、新庄市をアピールできる施設を検討出来ないでしょうか。
- ②各市町村に温泉が有るといのが、県のアピールでしたが、新庄市の温泉施設はもうどうにもならないのでしょうか。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

- ①道の駅につきましては、本市における道の駅の方向性や基本的な方針を示す基本構想を今年の6月に策定したところでございます。
その中で、目的や必要性、3箇所の建設候補地の抽出、各候補地の整備イメージなど検討してきましたが、今後は、市が抱えている大型事業、明倫学区における義務教育学校や看護師養成学校の建設など、また、高速道路の進捗状況、本市では東西南北にミッシングリンク（未整備区間で途中で途切れている区間）がございまして、その区間の整備状況などを考慮しながら、検討を進めてまいりたいと考えております。
- ②市民の健康増進を図るため温泉施設は重要であると認識しています。市民の皆様からの要望もいただいておりますので、必要であるという声に応えるためにどのような形が望ましいか検討してまいります。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 萩野学園区

※市記入欄
担当 教育総務課

1. 意見の内容

旧小学校の跡地について

昨年も提言させていただいた跡地を、桜の木の植樹された東屋がある風景を持つ広場に出来ないかと思います。この場所は、「ここに小学校が出来るならば」と、地権者が寄進したという話があり、萩野泉田停車場線の環境の変化もあり、小学校跡地が市民の安らぎの場所でもあり、各団体の演習の場でもあればと思うのです。如何でしょうか。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

旧泉田小学校の活用については、萩野学園開校以前から各学校PTAや地域住民の皆さまから参加いただきました「萩野地区小中一貫教育校実施策定委員会」や「萩野中学校区小中一貫教育推進協議会」等において意見をいただきながら、一部はテニスコートや学校田、スクールバス車庫など萩野学園の活動用途として活用をし、その他は地域の交流広場的な活用ができるような施設計画を検討してまいりました。

その中で整備時期や整備後の管理手法についても検討してまいりましたが、施設整備においては相応の時間を要するものと考えております。

ご意見のありました「桜の木の植樹された東屋がある風景を持つ広場」についても計画実施の段階において検討しながら進めてまいりたいと思います。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 萩野学園区

※市記入欄
担当 教育総務課

1. 意見の内容

学童が集団登下校していますが、交通量の多い交差点で横断歩道の道路標示のないところがあるようです。子供たちの安全を考えると、横断歩道のある交差点を渡らせたいと思うものです。

ご父兄の方も心配しているようです。子供たちの安全・安心のため市の通学路の横断歩道を点検されてもよいのではないかと思います。

2. 新庄市としての対応(市担当課記入欄)

通学路の交通安全確保対策は、警察署・道路管理者・行政・学校等が連携して対策を図る体制が構築されています。毎年4月時に学校側からの報告を受けて危険箇所情報を共有化し、早急に対応が必要な箇所については関係機関が合同で現場点検を行い、役割分担による効果的な安全対策を図っています。

ご意見にあった箇所は、横根山のローソン北側の(国道13号と市道が交差)部分です。

往還新町近辺の小中学生はこの部分で市道を横断し登下校しますが、横断注意を促す標示が無いため、児童は車の往来に注意が必要です。

萩野学園からも警察署に対して対策を求める要望がありましたので、6月19日に行われた今年度の関係機関合同点検の箇所に加えました。

当日の点検では①市道側にあるべき停止標示がほとんど消えていること②これに加え児童横断の注意を促す誘導線等の標示が好ましいという点検結果となりましたので、今後、新庄警察署・道路管理者と協議を進め、早期に対処することとなりました。

通学路の安全対策については、毎年このように関係機関が協力して可能な安全処置を図っておりますので、今後とも情報提供いただければ幸いです。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 萩野学園区

※市記入欄
担当 教育総務課

1. 意見の内容

通学(山交バスの利用)について

横根山地区は、30年以上前から山交バスでの通学となっています。(理由は不明)現在、学園併設の学童利用者がいます。バス停はガソリンスタンド隣、萩野医院の駐車場です。車の往来、高齢者ドライバーが多い場所で小1～小6がバスを待ち、雨、風、日差しを遮る場所がありません。

- ・バス停を薬局前に移動できないのか。
- ・子育て世代に、毎月1,700円の負担をさせ、山交バスの維持をさせているのはおかしくないか。
- ・バスが空いている夕方はスクールバスを利用させてほしい。
- ・定期購入方法の改善、利用料振込、ランドセルシールなど
(平日 会社～学童～山交 18:00まで間に合わない)
(休日 スポ少、その他 10:00～18:00に新庄にいない)

2. 新庄市としての対応(市担当課記入欄)

市教委の通学における基本的な考え方は、小学生(児童)は徒歩通学、中学生(生徒)は徒歩通学または自転車通学と考えております。ただし国が定める児童4km以上・生徒6km以上の遠距離通学の場合、最優先しスクールバスを配備しております。しかし昨今の社会情勢(防犯面・少子化)を勘案し、新庄市では国の基準をさらに緩和し、通年スクールバス利用の基準を児童3km以上・生徒5km以上の遠距離通学の場合とし、また冬季間利用の場合は児童2km以上・生徒3km以上と更に基準を緩和し、児童・生徒の安全安心な通学環境整備に努めているところです。

横根山東地区につきましては、通学距離が萩野学園まで2.6kmとなっており、6年生までが冬期間の通学用バス利用に該当することとなっております。通年利用・冬期利用とも、新庄市の他の小中学校区との整合性を図り、またスクールバスの乗車人数の状況を注視しながら、地域の中の個々の事情も考慮し長期的なビジョンを持って検討していきたいと考えております。

山形交通バス利用に関する利便性の向上については、民間会社の経営に関わることもありますが、可能な限り利便性の向上に努めて頂けるよう、働きがけをして参りたいと思います。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 **萩野学園区**

※市記入欄
担当 教育総務課

1. 意見の内容

小中一貫校として萩野学園がスタートして3年目になります。
泉田小学校跡地のグラウンドを活用し、子供達がのびのびと運動出来るように利用しては如何でしょうか。その為に学園とグラウンドを結ぶ通路の整備をしては如何でしょうか、(土地の協力者がいるときいております)

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

泉田小学校跡地については、一部をテニスコートや学校田として萩野学園の学校活動の中で活用しております。
現在、児童生徒が利用する場合は、公道(県道)を通過して支障なく移動できているものと考えています。
ご意見のありました萩野学園と泉田小学校跡地を結ぶ通路につきましては今後、交流広場などの整備実施を進める中で必要性、安全性と効果について総合的な検討が必要と考えます。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 明倫学区

※市記入欄
担当 商工観光課

1. 意見の内容

若者が働く場所の確保
(企業の誘致等)
人口減少対策にもなる。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

4月1日現在、新庄中核工業団地の空き用地は、残り2区画、面積は約6.6ヘクタール、分譲率が96%です。完売に向けて引き続き誘致活動は継続しますが、現在の大きな課題は、既に立地した企業が人材不足に悩んでいることです。

平成29年度のハローワーク新庄管内の有効求人倍率は1.12~1.57の高い水準で推移しており、しばらくはこの状況が続く見込みですので、誘致から人材確保対策へと軸足を移し、以下のとおり関係機関と連携した取組みを実施してまいります。

学生と市内企業を結び付ける取組

- ・トライアル雇用：大学生等を就労体験として10日間以上雇用した市内企業にその賃金の一部を助成。
- ・企業訪問奨励金：市内企業に就職活動で訪問した学生に交通費の一部を助成
- ・山形大学にて市内企業と学生・教員との情報交換会開催

若い世代に市内企業の情報を伝える取組(将来のUターン就職に繋げる)

- ・Shin-Job体験：市内各中学校へ企業が出張して実施する職業体験
- ・市内企業見学バスツアー：市内の高校生を対象とした企業見学ツアー
- ・企業情報パネル展示：企業紹介パネルを市内各高校とゆめりあで巡回して展示

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 明倫学区

※市記入欄
担当 教育総務課

1. 意見の内容

明倫中学校学区内小中学校統合による「義務教育学校」設置もいよいよ具体的になり、市教育行政も多忙を極めているものと思われます。後戻りのできない学区再編・学校設置であるだけに、将来的に未来を担う子供の教育に失敗のなきよう慎重な検討を重ねられるようお願い申し上げます。

つきましては、統合後の現北辰小学校の校舎と跡地の利活用策についてありますが、当然ながら行政施策として当局の計画も検討されているものと思慮されるのですが、地域民としては、市有学校の廃校は誠に残念なことであるだけに、それに代わるものの設置を期待するわけではありますが、これについては、地域学区民の希望を求めるだけでなく、予算を伴った市としての将来的構想を提示していただきながら検討すべきことであろうと考えます。

少子高齢化、人口減少傾向を踏まえた長期ビジョンを設置し、北辰小校舎跡地を将来有為な地域貢献のできる人材育成のための「教育・科学・文化」施設を設置されるよう強く希望いたします。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

明倫学区義務教育学校設置に伴う、北辰小学校の跡地利用につきましては、平成29年3月に策定しました「新庄市公共施設等総合管理計画」の中で新たな施設の延床面積を整備前の施設の延床面積合計と比較して10%以上縮減することが目標とされていますので、原則として既存校舎及び体育館など建物施設は解体の方向で考えています。

その後の跡地活用策につきましては、学区内の皆様からのご意見をいただく場として、昨年度設置されました「北辰小学校学校づくり協議会」で協議をさせていただいています。今後もこの協議会を通じて地域の皆さまが親しまれ、継続的な活用ができるものにすべく、アイデアやご意見をいただき検討してまいりたいと思います。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 明倫学区

※市記入欄
担当 健康課

1. 意見の内容

山屋温泉の再開を希望します。
県内で唯一温泉のない街として、イメージが悪いのでは。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

奥羽金沢温泉については、昨年12月末の閉館後に複数の事業者からの照会があり、今後の対応は検討中であると伺っており、温泉事業者の考え、動向を注視しております。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 明倫学区

※市記入欄
担当 学校教育課

1. 意見の内容

現在、私どもの学区内は子供たちを利用して配布物の行き来を行っているようですが、とても危険な行為かと思われませんが如何でしょうか。何故なら、教育関係者、防犯協会による登校・下校時には見守り隊の協力により、子供たちの安心安全に努力して頂いています。とても、見守り活動には感謝しております。ありがとうございます。

でも、高学年の子供たちは誰もいない時間帯や夜又は早期に配布物を届けています。特に冬になれば暗く足元はアイスバーンになりとても子供たちを守る側の行為とは言えません。また中学校の生徒はクラブ活動で遅くなり危険性が伴います。是非議論をして子供たちや父兄に負担がかからないように「けがにより通学できない」ということのないようににしていきたいです。

(例えば、技労員の先生や封筒又はメール便で考えて頂ければ)

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

日頃より学校教育活動へのご理解と、地域における子どもたちの見守り等ご協力頂いておりますことに感謝申し上げます。市内各小中学校及び義務教育学校では、区長あて文書を、ほぼ毎月、近隣の児童生徒が届けています。文書の内容は、学校だより、PTA広報紙、行事の案内などです。児童生徒数の減少に伴い、区長宅近隣で担当できる該当者がいなくなっていること、また、移動の際、児童生徒の安全面の保障ができないことなどの課題があり、折にふれご意見等も頂いているところで。そこで今年度、2学期をめどに、配布方法を、①郵送する、②担当職員が届けるなどに変更するよう、各校に依頼しております。ただし、大きな学校においては郵送代が大きくなることや、毎月届けることの負担があることなどの問題があり、現在よりよい方法について検討をしているところで。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 日新学区

※市記入欄
担当 成人福祉課

1. 意見の内容

民生委員の担当地域の見直しについて

発足から100年以上になっている。その当時から今を見ると少子高齢化、離婚化、一人暮らし、同居離れ、宅地化等により民生委員の活躍の場が多くなっています。細かなところまで手が廻らない地域の実状にあった活動ができる様見直しをしてはどうか。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

現在新庄市では78名の方が民生委員・児童委員として活躍しています(主任児童委員7名含む)。定員は81名ですが、欠員3名(主任児童委員1名含む)となっています。

民生委員・児童委員の担当地域については、人口や世帯数、住民の生活の様子など様々な変化があり、見直しのご意見をいただいております。

今後、近隣地域の連携しやすさなどに配慮しながら担当地域の見直しについて協議していきたいと思っております。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 日新学区

※市記入欄
担当 環境課

1. 意見の内容

昨年の10月29日に鉄砲町地域自主防災として2回目となる避難訓練を行いました。テーマとして、「最近のゲリラ豪雨」を想定したものです。

1回目との違いは、隣の町内の下田町と合同で行いました。当町内の避難先「わくわく新庄」までですが、避難先へ行くには、必ず金沢橋を通る必要があります。反省会を開催した時点で升形川を通るコースは、増水の危険がともない問題有り、今年度の自主防災活動計画では、駅方面への避難を計画しました。

避難訓練は、色々な問題がでて対策をとっていけば、必ず地域に貢献するとの多くの委員から意見としてでました。

ゆめりあ館長へ避難先を含めた計画を相談したところ、駅近辺では屋外のアビエスが避難地になっているとの事でした。アビエスは屋外でもあります。ゆめりあを避難先として活用することは出来ないでしょうか。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

大規模災害の際は、指定されていなくともゆめりあを避難所として活用することはできます。但し升形川が増水し、金沢橋を渡ることが困難になった場合、ゆめりあ周辺やその道中はすでに浸水している恐れがあります。尚、升形川洪水浸水想定区域図は山形県のホームページで公表されていますのでご確認ください。

増水する前にわくわく新庄へ避難することをお勧めしますが、金沢橋の通行が困難な場合は、浸水区域をゆめりあまで移動するよりも、自宅や近隣の住宅の2階に避難した方が安全な場合もあります。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 日新学区

※市記入欄
担当 ①総合政策課②農林課

1. 意見の内容

①看護師養成学校の設立について

- ・進捗状況を知りたい。
- ・最上7町村はどのようにかわるのか。
- ・定員30名(?)の募集対策をしっかりとやって欲しい。

②新庄市の農業政策は、「基幹作物である主食用米の生産に加え、土地利用型作物や高収益な畑作物を組み合わせた農業の複合経営を推進し、農業を魅力ある産業として育成する」とのこと(昨年のもちづくり会議)であるが、輸出を主とする農作物を1~2品つくることを政策として推進できないものか。必要なら農林大学校や山形大学農学部との協力を仰ぎながら。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

①看護師養成所の設立の目的は、深刻な看護師不足への対応と、若者の地元定着を図ることです。地元で高等教育機関が少ないという現状を踏まえ、看護師を目指す若者の地元定着を図るためにも看護師養成所を設置し、地元で育て、地元で定着する仕組みを作りたいと考えています。また、看護師養成所が地元にあることで看護師を目指す人が増えることも期待しています。さらには、若者の定着により、まちなかを賑やかにし、地域の活性化にもつなげていきたいと考えています。

平成29年度から新庄市の事業として検討を進めてきましたが、一番の課題となるのが看護教員の確保です。そのため、関係機関からの情報収集や推薦依頼などを行ってきました。この度、教員候補者の推薦を受けることができ、採用に向けた調整を行っているところです。

今後は、この教員候補者と相談しながら準備を進めていく考えで、他の教員の公募、実習施設の依頼、施設整備などを行っていく予定です。そして、平成33年4月を開校の目標として、認可申請の手続きを進めていく予定です。

また、新庄最上圏域における看護師養成所と考えていますので、施設整備や学校運営については、町村と連携を図っていききたいと考えています。連携の有り方については、これからの協議となりますが、8市町村で連携できる方策を検討していく考えです。

学生の募集については、開校の前年度に行うこととなりますが、平成33年開校とすると、今年度の高等学校1年生から対象となります。そのため、高等学校とも連携しながら、推薦枠などを検討し、学生にとって一つの進学先となっていきたいように、広く周知していく考えです。

その他にも検討課題は多くありますが、設立について具体的にになりましたら、市民の皆様へお知らせしていきたいと考えております。

②輸出を主とする農産物の推進については必要と考えておりますが、新たな品目の選定、生産技術の確立、生産者の確保、新市場の開拓等多くの課題がございます。

当市の生産状況を見ますと、全水田面積に対して水稻作付面積が約7割、高収益な畑作物の作付については、国内需要への対応のみの作付状況となっております。

輸出に関する取り組みとしましては、国で「コメ」の新市場開拓プロジェクトを立ち上げ、「コメ」の新市場開拓を推し進めており、新庄・最上地区においても、4月に合併したもがみ中央農協が市内生産者と協力して300俵の輸出米を出荷する計画がございます。

全国で「コメ」の需要が毎年8万トン減少すると推測されておりますが、まずは国内においての産地化を図るため、高収益作物への転換を支援したいと考えております。

市政への意見(市全体の将来に関するアイデアなど)

地区名 日新学区

※市記入欄
担当 都市整備課

1. 意見の内容

雪処理対策の促進

- ・雪国の住民にとって降雪期の雪処理は大きな負担であり、時として隣同士が気まぐずい雰囲気になってしまう場合もよく聞くところである。
- ・雪処理の負担を軽減するため流雪溝等の整備は重要であり、市は雪対策基本計画に基づき順次整備を進めておられるが、住民の高齢化が急速に進むなか、雪処理の労力負担を増やさないためにも更なる整備の促進が必要である。
- ・また、流雪溝の機能を十分発揮させるには流雪溝設置沿線での利用方法等のしっかりした取り決めに加え、近隣住民同士の思いやり、譲り合いも重要である。
- ・これからの雪対策は、流雪溝等ハード面の整備促進は勿論であるが、近隣同士の譲り合い、助け合う気持ちの醸成等ソフト面も併せて進める必要があるのではないか。

2. 新庄市としての考え(市担当課記入欄)

流雪溝の整備につきましては、「新庄市総合雪対策基本計画」に基づき、現在2地区を対象に面的な整備を進めており、流雪溝の整備率は平成29年度末現在で約53%となっております。

ご意見にもありますように、流雪溝は「水源・流雪溝・流末」の3要素が整い、地区関係者で取り決めた「利用のルール」に基づき利用していただくことで、流雪溝の機能が発揮します。

以前は、流雪溝整備が先行し、整備後に利用組合組織を立ち上げていただく手法をとっていましたが、現在整備を進めております2地区については、流雪溝の供用前に地区関係者による「流雪溝利用組合」を設立していただき、円滑な利用に向けた取り組みを行っております。

市としては、今後も「冬の快適な暮らしを実現」するため、克雪対策の一環として流雪溝の整備及び地区関係者による流雪溝利用組織のへ協力や助言、活性化に取り組んでまいります。